

止戈樞要百四十六終

止戈樞要卷百四十七 師律要畧

從位行佐守丹滌人増業著

醫療八

一切ノ目病ヲ治ル方

明礬

欬黃

等分

右粉

湯

入

筆

差ス

又方

胡荽生ニテ按ニ鼻ノ中へ入レ塞

肝
ハ
功
アリ
鼻
中
入
一
合

大
シ
又
方
葉
ヲ
煎
シ
丹
砂
少
シ
加
へ

荊
木
ヲ
煎
中
卒
痛
ヲ
治
方
取
リ
差
ス
へ
シ

古
キ
梅
子
ヲ
搗
リ
皮
ヲ
去
銅
ノ
罫
ニ

付
置
サ
セ
出
ラ
取
サ
ス
へ
シ
方
要
罫

ホ
ツ
キ
ノ
根
ヲ
煎
シ
洗
フ
へ
シ
境

白
楳
ニ
ケ
又
ハ
右
一
味
水
二
合
ヲ
一
合

テ
後
以
煎
シ
ツ
温
湯
ニ
テ
洗
へ
シ
妙
効

雞
子
白
ミ
ノ
中
へ
明
礬
一
塊
入
テ
置

ク
成
ル
ヲ
木
綿
ニ
又
リ
テ
眼
ブ
タ
キ
シ
ハ
ラ
ク
シ
テ
糊
ノ
如
ク
ハ
白

ノ上ニ張ルヘシ目ヲ子フリテ

張リ塞クハシ即鑿カニ點入カテ置

山柅子生又方黄柏生竹茹

石菖根各二分桃葉八分

右五味水一合入テ七勺ニ煎シ

寒晒ノ方明礬ニテ洗フヘシ又カク

キ流行目病ニハ煎茶ノ中へ塩

朶螺ノア夕雨ニサレタルヲ白燒

加ヘ管ニテ吹入ヨクテ少シ

乳汁ノ中へ蠅ノ頭ヲ四ツ五ツ入

又方其乳ヲ差スヘシ

蠅ノ頭ヲ糊ニ押シ交セ水ニ出シ

付此藥蛇毒ニモ針ノ踏又キニ

鹿茸白燒極細末ヲ乳汁ニテ解差

又方 又方 又方 又方 又方 又方 又方 又方 又方 又方

右ニ味等分ニ合セ度々洗フ

水仙ノ白根クダキ汁ヲ取り入ル

妙効アリ

又方

浮萍

右一味細末シ川ノシラ鰕ヲ取

汁ヲシホリツキ目ノ内ニ差シ

入ル妙効アリ

打月ヲ治ル方

杏仁皮ヲ去リ乳ニテトキ付ル男ハ

左ノ手女ハ右ノ手ニテ付ル

眼病ニテ痛ミアルモ十キモ
マハユクアカリヲ見ルコト

不成ヲ治ル方
菊ノ花

甘草ノカラ黒燒
右三味各等分煎シ冷テカラ用

俄眼赤ク熱痛ミコラヘカタ
下地

生姜絞リ汁ヲ艾ニシメシ眼ヲア
ハキテ目ノ上ノ所ニテ

ハシ艾カハケバソロト糸ヲ
目ノ中ヘ不入様ニ半時斗リノ

内熱ヤミ痛ニ止ル
時分

燈心ノ黒燒ヲ水ニテ甘キ目ニ入
ル

又方
モ

燒塩
明礬石

梨子
 右一
 味打碎
 テ銅ノ器ニ入置ハ
 モキニ程
 又方
 クヤモ
 粉燈心ノヤケル時分ニ押
 目瘡ヲ治ル方ニスル如クヨキ
 常ニ灸ニスル如クヨキ
 付黒焼ニスル但
 付黒焼ニスル但

水
 右一
 味細末
 シ水ニ
 煎シ以火煎目ハ
 木芙蓉ノ花生ニテモ
 又方
 味三テ其汁ヲ付ル目ニテモ
 右各等分能スリトキ目鬱上ニ
 又ルハレ目ヲ治ル方見ル
 味モ三テ其汁ヲ付ル目ニテモ
 水一又方
 味細末ニ水ニ
 煎シ以火煎目ハ

青ク黄十ル汁出ラ眼ニ入ルハ

シ同洗薬ノ方

メウハシ一タ

五分右三味ヲ振リ出シテ洗フヘシ

土竜黒焼眼痛ヲ治スル方

右ニ味等分ヨリスリ合セ水ニ

痛ニ強キ時ハ龍腦ヲ増スヘシ

ト虫ヲ生十カラ目ノ内ニ入ル

キワ外生五分トウス焼返シテ

少吳竹ノ葉五枚木末ヲ少シ去

シキル葉三枚モト先ヲ少シ去

梅子

右如一ツ
煎シ
洗フ
上気月又カ

工目ヤ
出ル
モヨ
少シ

眼
中
イ
口
物入テ不

出
用
ル
方

柚子
黒焼
舌
上
置
ハ
ヨ

右
細
末
シ
テ

又
方

大麥
非
煮
テ
其
汁
煎
テ
洗
フ
ハ
シ

目
力
ヲ
助
ク
ル
方

曼
籾
一
尺
餘
川
谷
物
ヲ
尾
腸
ヲ
去

リ
首
尾
ト
モ
大
蒜
一
顆
右
二
味

ヲ
黒
焼
シ
ス
リ
末
シ
朝
夕
酒
ヲ

以
テ
服
ス
大
妙
効
アリ
又
精
氣

ヲ
益
シ
行
步
ヲ
健
ス

野
菊
ヲ
煎
シ
洗
フ
小
兒
ハ
鳥
目
ハ

ハ
キ
ノ
苗
ヲ
食
セ
テ
ヨ
シ

飛出タル目玉ヲ掌ニウケ冷水ヲ
 ソ、ゲハ木ノ如クニ治ルナリ
 ノウカノ根ヲ煎シ洗フヘシ稻蓼
 汁ヲ付ル妙効アリ
 大麥ヲ家内ノ水氣アル所ヘ蔣ニ
 寸半生シタル時取ル火ニ少シ

アタメノ目ヲヌルヘシ
 逆マスゲ目カキク赤クタル
 レ痛ニハ
 水黽子仁ヲツキタラカシ綿布
 包ミ僚トシ左ナラハ右鼻
 右ナレハ左ヲ塞ク其毛目上下
 ウワヒソコヒ目トケ立タル
 マコモ草黒燒
 上野砥

右等分能く摺り合せサスツキ
目ニモヨシ

鼠ノ小便目ニ入タルニハ

アヲメノ煮汁ニテ洗フヘシ

又方

猫ノヨタレヲ差スヘシ猫ニ晏ノ

類ノ辛キ物ヲ喰セバ涎出ルヲ

取ルナリ

目ヲチニ毛ハ出キ外ルニハ

俗ニ目佃ボ又毛ノモヲイ

ト云

生豆ヲスリクダキ付ルナリ

又方

足ノカトヲ灰ニ形ヲ付其跡へ

人ノ不見様灸ヲ三火スル

赤目シブリ痛ヲ治ル方

桑木ノ葉

右一味末ニシ紙ニマキ焼テ十

スブヘシ

月ツブレントスルヲ治ムル

右方
如
公
搭
山
家
山
山
山
山

又ルテノ木ヲ手一束ニ切切目ヲ

入油ノ出ルヲ取リ乳汁天毛

解廿二洗ノ袖方麻

伊勢二見浦糸藻谷三木湯三浸

洗フベシ藻谷三木湯三浸

電光ヲ見テ晴ヲ損スルニハ

唐モ口コシノカヲ煎シ洗フハ

シ何云目

練育目ノ養方

老栲木皮北向ナルヲ取り壺ノ皮

等分ニ焼キ粉ニシテ毎月一合

水ニ煎シスマシ上スミヲ取り

目ヲ洗フ一月ニ三度洗ハ甚

明ナリ目ニ毒ナルハヌカシ

ウゼン葛ヲ霜馬ノ汗ヒキ

ノ油ナリ惣テ月ヲ病ニハ上部

灸スヘカラス

鼻ノ中ノ腫物ヲ治ル方

ミカニノ黒焼

右一味付テヨ

鼻ノ中肉生テ香臭

唐ゴマ

右等分丸ニ鼻ノ孔ヲ下サク

効アリ

鼻中ヨリ臭キ水多ク出テハ

百艸ノ黒焼ヲ岩間ニ水ニ吞

虫出テ愈ル

鼻塞ヲ治方

緑青ヲ又ルヘシ

鼻ノ内外腫痛ヲ治マル方

イモノ花黒焼

右コマノ油ニテ付ル

鼻血ヲ止ル方

鼻ノ身所ヲスリ額ニ付ル片身ヲ

サカイニ付レハ一方止ル兩方

付レハ兩方止ル

又方

石菖ノ根ヲ火ニアタメテ鼻ノ

内 = 付ス

鼠糞黒焼ヲ鼻ノ内ニ入ル

又方 付テ

梔子黒焼ヲ鼻ノ中ニ吹ク

又方

夕テノ葉ヲモミ其汁ヲ額ニ付レ

ハ止唇ハリ夕、レ夕ル

ヲ治方

馬薺ノ汁ヲスル

唇邊ノ瘡ヲ治ル方

宿砂ノ黒焼ヲ付ヘシ夕、ルニ黄連ノ末又
麥門冬ノ汁ヲスルモ

又方

藍ノ汁ニテ洗フニモヨシ腫ルニ

ハ蕪菁ノ汁ヲ付テヨシ

口氣臭ヲ治ル方

毎朝沸湯ニ梅于一ツヲ入レ吞ヘ

シ此天満官神託ノ方ト云

口中一切ノ痛ヲ治ル方

シ

シ

ミカニヲ寒中水浸
シテ用ニハシ又切疵ニ付能ク

血ヲ止ム指ヲ切落タルモ付ト

野蒜ノ玉ノ黒焼ヨシニ朝

百草黒焼ヲ口中ノ瘡ニ用テヨシ

茄子漬古キ汁ヲ去リ黒焼ヲ粉

葛ノ黒焼又方

昆布ノ黒焼又方

桑ノ木實ノ黒焼又方

右何モ粉ニシテ用テヨシ

六月土用ニ取

黒ヤキ

以テ

フシ 五分 梅仁 二分五厘

龍眼肉 桂黒焼 一分

ヒルムシ 黒焼 一分

右細末シテ付甚妙効アリ

大山椒ノ根水ニテヨキ程ニ煎シ

服ス

又亦

檜木ノカンナクハ水ニテ煎シ其

汁ヲ用テ

口中諸痛又齒ノキ腫ルヲ治

滑石 甘草 葛根粉

右三味各等分スリ末シ冷水ニ

和シテ飲ム

蓋草^{カリヤス} 齒ノキ腫ウミタルヲ治方

又方

生茄子ノ皮黒焼ヲ砂糖蜜ニテ煉

リ

虫歯ノ穴ハ松脂ニテ塞ク
治ル方

節分ノ籾ノ肴ヲ其カララ虫歯ニ

テ喰テ其元へ灸三仕ズへ

蓮ノ葉ノ痛ニ齒グキハレヲ治方

右ニ味黒焼ク又キハレヲ治方

シ又方 齒痛ニシテ未シテ付へ

シ又方 齒痛ニシテ未シテ付へ

松ノ葉手一束 袖木皮 上ハ皮ヲ取り

右ヲ煎シテ含ムへシ

又方 冬瓜ノ黒焼ヲ含ムへシ

冬瓜ノ黒焼ヲ含ムへシ

虫歯ヲ治ル方

韭ノ葉ヲモミ塩少シ入クワへル

齒ノ痛何症ヨラスス治ムル

方 齒ノ痛何症ヨラスス治ムル

ハゴ草ヲ陰干シ煎シ含ムへ

シ

于鮑 咽ノ痛ヲ治ル方
シ 黒焼 = シテ 絹 = 包 = 含ムハ

昆布 又方 梅子 各黒焼 = シテ 芦
筒 = 吹コムハシ

三年 又方 南天ノ葉
右等分 黒焼 = シテ 吹込ム
又方

山 扼子ヲ煎シ用ユヘシ
咽 喉腫塞ヲ治ル方

蒿 苴ノ根 黒焼
右 細末シテ 管 = テ 吹込ムハシ口
中 一切 = ヨシ

南 天ノ葉 へヒノ又ケカラ 黒焼
梅 子ノ肉ヲ 加へ 焼

木 右 細末シテ 管 = テ 吹込ム
咽 フガカル = ハ

木イ千コ黒焼ニシテ用ユヘシ

咽ハレ痛ニ聲出サル或ハ言

語ナラハルヲ治ル方

玉氏ノ皮モレ蚕

右煎ニ服スヘシ

喉ニ痰ツマリタルニハ

半夏ヲ酢ニテ煎シ吸ヘニ喉塞リ

不通ニ鼻中ニ吸入ヘシ

聲カレテ不出ニハ

生大根

一寸ホトニ薄クヘキ水一盃入

半分ニ煎シ吞ムヘシ

魚骨ノ喉ニ立タルヲ治ムル

方ニ粉ヲ薄茶一服ホト湯ニ

テ用ユヘシ

又方

榎ノ實ニシテ湯ニテ七一

又方

又方

松ノシトリ陰子ニ煎シ含ムハ

又方

明礬ヲ一味フキ入ル

又方

柑子ノ皮黒焼ニシテ用ユ

又方

憶ノ葉ヲ煎シ用ユハニ或ハ含ム

ハニシテ

麥ノ芒ノ皮トニ入外ルヲ治

茗荷ノ白根ノ汁取り水飛シ其ヲ

ドニヲ取り吞ハシ

一切ノ物喉ニ立タルヲ治方

茄花六月土用ノ内ニ取り陰子ニ

シ細末ニテ湯ニテ一匕用ユベ

方

飩ノ喉ニツマリタルヲ治ル

アヲムケニシテ醋ヲアタノ

ハ川ケ入ベシ

咽

口	櫛	鉄	丸
ハ	ヲ	斧	年
シ	開	ヲ	母
カ	山	水	喰
シ	椒	木	テ
テ	ニ	屑	ヨ
人	ヤ	ヲ	シ
ノ	キ	吞	ハ
息	服	タ	
ヲ	ス	ル	
咽	ヘ	ニ	
=	シ	ハ	
吹			
入			

セ	樽	炭	鳥	松
ニ	酒	火	芋	八
山	ヲ	ヲ	ヲ	銅
甲	コ	ツ	摺	人
ヲ	シ	キ	夕	喉
粉	テ	ク	ニ	ニ
ニ	末	タ	ラ	立
シ	ス	キ	カ	タ
テ	ハ	粉	シ	ル
吞	ニ	=	マ	ニ
ム	ハ	シ	リ	ハ
ヘ	息	テ	タ	合
シ	火	一	ル	
奇	ニ	夕	=	

葑ヲ 針ヲ アヤマツテ 吞タルニハ
ヨリ出ル又 葑斗モヨシ 針大便

千廿ノ 喉痺ヲ 治スル方

右細末シテ 吞ム速切アリ 妙

山牛旁根 又方 醋ニテフキ 咽ノ外ニ付

灯心草ノ 又方 喉痺ノ 急症ヲ 治方

灯ノ油ノ 餘リヲ 吞ミ吐スレハ 咽

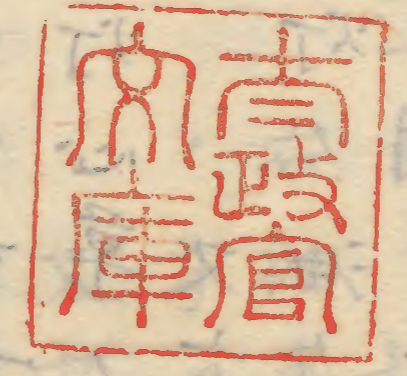
南天 又方 又方

赤トニホウ 刀豆 核 豊

南天 右黒焼ニシテ 吹入テ 飲ム又一

品宛用テモ妙ナリ
ツ三ツ吞ナリ
赤楠

南天ノ青葉ヲモミ汁ヲ吞ムヘシ



止戈樞要卷百四十七終

